

# 2019年11月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年7月11日

上場会社名 リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社  
 コード番号 9836 URL <http://www.levistrauss.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) パスカル・センコフ  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務統括部長 (氏名) 古山 信一

TEL 03-5785-5600

四半期報告書提出予定日 2019年7月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年11月期第2四半期の業績(2018年12月1日～2019年5月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第2四半期	7,871	7.4	293	59.1	307	57.5	274	61.2
2018年11月期第2四半期	7,331	14.9	716	262.1	724	244.1	706	375.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第2四半期	47.41	
2018年11月期第2四半期	122.06	

(注)当社は、2018年6月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年11月期第2四半期	7,060	3,757	53.2	649.45
2018年11月期	7,193	3,483	48.4	602.05

(参考)自己資本 2019年11月期第2四半期 3,757百万円 2018年11月期 3,483百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期		0.00		0.00	0.00
2019年11月期		0.00			
2019年11月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年11月期の業績予想(2018年12月1日～2019年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,200	5.3	400	36.0	400	36.0	360	40.7	62.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理を適用)」をご参照ください。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

### (3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年11月期2Q	5,790,400 株	2018年11月期	5,790,400 株
期末自己株式数	2019年11月期2Q	5,127 株	2018年11月期	5,047 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年11月期2Q	5,785,313 株	2018年11月期2Q	5,785,614 株

(注)当社は、2018年6月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第2四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(追加情報) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社の第2四半期累計期間(2018年12月1日～2019年5月31日)における我が国の経済は、企業業績、雇用環境及び所得状況が改善し緩やかな回復基調にありました。しかしながら、依然個人消費の伸び悩みや継続する海外経済の先行き懸念などの課題も浮彫りになりました。

このような事業環境のなかで、第2四半期累計期間における売上高は、前年同四半期比5億39百万円増の78億71百万円(前年同四半期比7.4%増)となりました。冬物商戦及び春夏物商戦は、季節商品の売れ行きが天候不順の影響を受け鈍い出足となりましたが、新商品をはじめとしたボトムスの定番商品の売上が堅調に推移したこと、強化したトップスの品揃えが功を奏し売上が伸長しました。また、リテール事業では、前年度下期より新規店舗の開店が進み売上増加に貢献しました。

また、返品調整引当金繰入後の売上総利益は、前年同四半期比2億17百万円増の40億41百万円(前年同四半期比5.7%増)となりました。

販売費及び一般管理費は、新商品への広告宣伝費への投資や増加した新規店舗の店舗運営費用、賃貸料等の販売費が増加したため前年同四半期比6億40百万円増加の37億48百万円(前年同四半期比20.6%増)となりました。

この結果、営業利益及び経常利益は、それぞれ2億93百万円(前年同四半期比4億23百万円の減少)、3億7百万円(前年同四半期比4億16百万円の減少)となり、四半期純利益は2億74百万円(前年同四半期比4億31百万円の減少)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて1億33百万円減少し、70億60百万円となりました。これは、主に現金及び預金が3億34百万円、売掛金が3億81百万円減少し、商品が3億26百万円、敷金保証金が3億20百万円増加したことによるものです。

##### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べて4億7百万円減少し、33億2百万円となりました。これは、主に買掛金が1億64百万円、未払金が2億77百万円減少したことによるものです。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて2億74百万円増加し、37億57百万円となりました。これは、四半期純利益により利益剰余金が増加したことによるものです。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて3億34百万円減少し、5億92百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益2億90百万円に対して、売上債権3億81百万円及び未収消費税等2億28百万円の減少等による収入、商品3億26百万円の増加、仕入債務1億64百万円及び未払金2億48百万円の減少等による支出があったため、1億69百万円の資金の収入(前年同四半期比8億62百万円の減少)となりました。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得により1億76百万円及び敷金保証金の差入れにより3億20百万円の資金の支出があったため、4億97百万円の資金の支出(前年同四半期比4億48百万円の増加)となりました。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、ファイナンス・リース債務の返済等により7百万円の資金の支出(前年同四半期比0百万円の減少)となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年1月18日付「平成30年11月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年11月30日)	当第2四半期会計期間 (2019年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	926	592
売掛金	1,665	1,283
商品	2,773	3,100
未収消費税等	407	178
短期貸付金	0	0
その他	219	319
貸倒引当金	△0	-
流動資産合計	5,991	5,475
固定資産		
有形固定資産	633	695
無形固定資産	0	0
投資その他の資産	568	889
固定資産合計	1,201	1,585
資産合計	7,193	7,060
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,621	1,456
未払金	989	712
未払法人税等	-	18
返品調整引当金	182	184
資産除去債務	3	37
その他	501	508
流動負債合計	3,298	2,918
固定負債		
資産除去債務	272	252
その他	139	132
固定負債合計	412	384
負債合計	3,710	3,302
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	86	86
資本剰余金	1,509	1,509
利益剰余金	1,909	2,184
自己株式	△22	△22
株主資本合計	3,483	3,757
純資産合計	3,483	3,757
負債純資産合計	7,193	7,060

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)
売上高	7,331	7,871
売上原価	3,235	3,620
その他	271	207
売上総利益	3,824	4,043
返品調整引当金繰入額	1	2
差引売上総利益	3,823	4,041
販売費及び一般管理費	3,107	3,748
営業利益	716	293
営業外収益		
受取手数料	6	8
為替差益	6	10
雑収入	0	1
営業外収益合計	13	19
営業外費用		
支払利息	4	4
雑損失	0	0
営業外費用合計	4	4
経常利益	724	307
特別損失		
固定資産除却損	0	8
特別退職金	2	9
特別損失合計	2	17
税引前四半期純利益	721	290
法人税等	15	16
四半期純利益	706	274

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	721	290
減価償却費	63	86
差入保証金償却額	0	0
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△33	△15
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	1	2
雑収入	△0	△1
支払利息	4	4
雑損失	0	0
有形固定資産除売却損益 (△は益)	0	8
特別退職金	13	9
売上債権の増減額 (△は増加)	162	381
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△187	△326
前払費用の増減額 (△は増加)	7	△137
長期前払費用償却額	-	14
未収入金の増減額 (△は増加)	4	△4
未収消費税等の増減額 (△は増加)	222	228
仕入債務の増減額 (△は減少)	53	△164
未払金の増減額 (△は減少)	71	△248
未払費用の増減額 (△は減少)	23	8
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△36	-
その他	△0	△0
小計	1,094	136
利息の支払額	△4	△4
法人税等の支払額	△49	△12
法人税等の還付額	-	56
預り保証金の返還による支出	△0	△1
特別退職金の支払額	△7	△4
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,032	169
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△36	△176
敷金の差入による支出	△15	△320
敷金の回収による収入	0	0
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	3	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48	△497
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6	△7
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7	△7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	977	△334
現金及び現金同等物の期首残高	1,075	926
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,052	592

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。